

病院だより93



美祢市立病院小児科の紹介

私たちは、山口大学病院に所属する小児科の医師です。日頃は山口大学病院で、入院診療、外来診療、救急患者さんの治療など、幅広く医療を提供しています。曜日ごとの交代制で、美祢市立病院小児科外来に出務しています。

美祢市立病院の小児科外来では、小児の内科的な疾患全てに対応しており、また、乳幼児健康診査、予防接種にも適宜対応しています。

小児科の入院治療を美祢市立病院で提供することはできませんが、入院での治療が必要、あるいはより専門性のある小児診療が必要な場合など、ご家族の希望も伺いつつ、周辺地区の病院へご紹介します。

現時点での最善のプライマリケアと総合診療を市民の皆さんに提供できるように努め、納得のいく、わかりやすい説明を心がけて対応しています。

ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

美祢市立病院小児科の診療日程表については12ページに掲載しています。

小児科 外来診療 担当医



長谷川 俊史 医師



深野 玲司 医師



高橋 一雅 医師



脇口 宏之 医師



市村 卓也 医師



太田 直樹 医師



中村 圭李 医師



河村 麻衣 医師

問い合わせ先 美祢市立病院 ☎0837(52)1700

市政 Topics

3/25月 第三次美祢市行政改革大綱の策定について、答申がありました

美祢市行政改革推進委員会の中間会長から西岡市長に、第三次美祢市行政改革大綱の策定についての答申書が提出されました。

これは、昨年11月に西岡市長から美祢市行政改革推進委員会に諮問を行ったことに対する答申で、委員会では3回の審議を経て、より一層の効果的かつ効率的な行政経営を推進するための市が取り組む方針を取りまとめられました。



3/28木 美祢市病児保育施設「つぼみ」竣工式

美祢市立病院職員駐車場敷地内に建設された、美祢市病児保育施設「つぼみ」の竣工式が行われました。

同施設は4月1日日から開設され、生後6か月児から小学6年生までの病気の子どもを預かり、保護者の子育てと就労を支援します。

同施設のご利用にあたっては、美祢市子育て応援サイト「つぼみねっと」をご覧ください。

4/6日 「ニジマス」ネーミング発表

第32回みね桜まつりにて、美祢市が別府弁天池の湧水を利用して養殖している「ニジマス」のネーミング発表が行われました。ネーミング募集は、「ニジマス」のブランド化を図り、観光や特産品としてPRしていくために行われ、134作品の応募の中から「ます次郎」が選ばれました。

維新の原動力となった長州藩の西洋学者「大村益次郎」のように、地域活性化の原動力となるよう期待されます。



図書館だより

絵本読み聞かせ

日時 5月11日(日) 14時～15時30分
場所 美祢図書館 1階 児童室



5月・ゴールデンウィークの休館日

4月29日(祝)～5月6日(祝)
13日(月)、20日(月)、27日(月)

美祢図書館新刊図書案内

帰還	堂場 瞬一 著
サバティカル	中村 航 著
シーズンモンスター	伊坂 幸太郎 著
マジカルグランマ	柚木 麻子 著

市内の図書館の本は、各図書館窓口で貸出申込みされると、取り寄せて借りることができます。

問い合わせ先 美祢図書館 ☎0837(52)0213
美東図書館 ☎08396(2)5555
秋芳図書館 ☎0837(62)1925

美祢市台北観光・交流事務所だより①6

3月31日(日)、台湾地質公園学会訪問団が美祢市に来訪されました。台湾からは野柳地質公園を含む7つの地質公園が参加され、美祢市、美祢市観光協会、Mine秋吉台ジオパークと交流を深めました。

一行が秋吉台、秋芳洞のジオツアー体験や宇部興産伊佐セメント工場を見学された後、それぞれのジオパークの活動についての紹介や、意見交換を行いました。

また、2年前に市民会館横に記念植樹した、桜と紅葉を視察されました。その際の、「みね華の会」による抹茶の接待では、日本の伝統文化を体験され、とても感激されていました。

今後ともジオパークの活動を通じて、学術、文化、更には観光交流を促進させ、観光交流人口の増加、地域の活性化に繋げていきたいと考えています。



ジオツアー



抹茶の接待

問い合わせ先 観光振興課 ☎0837(62)1430

不正大麻・けし撲滅運動

5月1日から6月30日までの2か月間「不正大麻・けし撲滅運動」が全国一斉に実施されます。麻葉の中で、乱用されて社会問題となるのが、けしから取れるアヘンやモルヒネです。

けしの中でも、「おにげし」や「ひなげし」などは、麻葉成分を含んでおらず観賞用として植えても良いのですが、「セティゲルム種」、「ソムニフェルム種」のけしや「ハカマオニゲシ」は麻葉成分を含んでおり、勝手に植えることはできません。

また、大麻も法律で栽培が禁止されており、勝手に植えることはできません。

なお、平成30年度は、期間中に県下61か所において、約8,700本もの植えてはいけないけしが発見されました。

「セティゲルム種」、「ソムニフェルム種」の見分け方

- 全体が白っぽい緑色である。
- 葉のまわりの切れ込みが浅く、つけ根が茎を抱きこんでいる。
- 一重咲きの花は、花びら4枚で、色は赤、桃、紫、白などがある。また、多数の花びらがついた八重咲きの花もある。



ソムニフェルム種



セティゲルム種

セティゲルム種のつぼみの表面やつぼみの下の茎(花梗)は毛で覆われています。

「ハカマオニゲシ」の見分け方

- 花の色が深紅色である。
- 花の下に4～8個のハカマ(苞葉：ほうよう)がある。
- 花びらの基部に黒紫色の斑点がある。



ハカマオニゲシ



オニゲシ

大麻の見分け方

- 葉にノコギリ状の切れ込みがある。
- 葉は3～9枚の小葉が集まり手のひらのような形をしている。



大麻、植えてはいけないけしを発見した時や見分け方が分からない時は、最寄りの県健康福祉センター(環境保健所)又は警察署に連絡してください。

問い合わせ先 山口県薬務課 ☎083(933)3018